

## 県立病院医業未収金回収業務公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和7年1月27日（月） 14時から16時まで
2	場 所	県立広島病院
3	出席委員	県立広島病院事務局次長（委員長） 病院事業局県立病院課長（代理：同課総務グループ主任） 県立広島病院医事課長 県立安芸津病院総務課長 総務局税務課参事
4	議 題	県立病院医業未収金回収業務委託予定者の選定
5	担当部署	県立広島病院医事課
6	開催方法	1 参集 2 持ち回り
7	議事内容	<p>1 審査方法</p> <p>提出された提案書を基にプレゼンテーション審査を行い、選定委員会において審査の上、得点が最上位となった提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果</p> <p>(1) 審査対象者</p> <p style="margin-left: 20px;">A社：弁護士法人一番町綜合法律事務所 B社：弁護士法人ブレインハート法律事務所</p> <p>(2) 審査対象者の評価値</p> <p>審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>(3) 最優秀提案者及び選定理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 最優秀提案者 A社：弁護士法人一番町綜合法律事務所</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 選定理由 各選定委員による採点結果の合計得点が最も高かったため。</p> <p>3 各委員の評価</p> <p>A社：弁護士法人一番町綜合法律事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当院における総受託債権対比の回収率が42%と高く、またこれまでに債務者との大きなトラブルがない点が評価できる。</li> <li>・高頻度での連絡で回収率が上がることが期待できる。</li> <li>・リアルタイムで状況を確認できることは委託者としても有用と考えられる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各業務のマニュアル化、ルール化が明確で効率よく業務を遂行できるし、実績も十分</li> <li>・公立病院の債務者（患者）であることを十分理解し、提案されている。</li> <li>・債権回収業務のローテーション、発送文書の種類の多さ等、業務の着実な実施が期待できる。</li> <li>・リアルタイムで情報共有できる点は評価できる。</li> <li>・受理通知から電話催告までのスパンがスピーディーで、以降の督促等の手数も多く、計画的に業務が行われている。</li> </ul> <p>B社：弁護士法人ブレインハート法律事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンが時間切れとなり、途中で終了となったため最後まで聞くことができなかった。</li> <li>・提案書をそのまま読むプレゼンとなったため、内容が理解しにくいところがあった。</li> <li>・他院の実績も不明であり、判断が難しい。</li> <li>・督促の頻度が少なく、どこまで回収に結びつくか懸念</li> <li>・マニュアル、ルール等の標準化により一定の効果は期待できるが、具体的に他業者より優れているかは不詳</li> <li>・令和7年4月に新規に職員を雇用するなど、今回の業務を受託するに当たっての体制に不安を感じる。</li> <li>・業務に対する独自性がなく、提案内容も一般的な内容のみで、取組に対する具体的な内容の説明が十分になく不安</li> <li>・文書の送付方法について、確実に債務者へ届けるための方策を行っている。</li> <li>・具体的な受託実績、回収実績が分からなかった。</li> </ul>
--	---